**電池開発のための分析・解析技術講習会**

－二次電池の開発の最前線と分析技術の役割－

主催　（公社）日本分析化学会

　リチウムイオン二次電池（LiB）は、パソコン、携帯電話、電気自動車をはじめ、掃除機や髭剃りにいたるまで幅広く利用され、今や我々の生活には無くてはならない動力源となっています。LiBは昔の電池のように、環境負荷物質である鉛やカドミウムなどは一切使用していないことはもちろん、有害ガスをはじめ、二酸化炭素すら排出しないことなどからも大変注目を集めています。しかしながら、さらに高性能な電池開発を行うためには、容量、出力、信頼性、安全性などに関する課題も数多く抱えています。このようなLiBの研究開発や問題解決にとって、評価・分析・解析は大変重要なツールとなっております。多くの企業、大学、そして研究機関などでは、LiB本来の研究開発の他にこれらの技術開発が盛んに行われております。また、次世代の電池として注目されている全固体電池の研究開発も本格的にはじまりつつあります。本講習会では、研究開発の最前線にたつ講師の方々に、最新のLiBの作製・分析・解析技術から安全性評価および二次電池の研究開発の動向について講演して頂きます。分析に直接携わっている方はもちろん、分析データを活用される方々も奮ってご参加下さい。

期日　12月19日（水）

会場　大田区産業プラザ［東京都大田区南蒲田1-20-20、交通：京急蒲田駅徒歩3分］

内容　（講演50分+質疑10分）

9：15～　受付開始

9：30～9：35　　開会挨拶

9：35～10：30　 リチウムイオン二次電池のセル・劣化解析、素材分析

日産アーク　野呂純二

10：30～11：25　リチウムイオン電池　次世代材料の分析評価技術

東レリサーチセンター　森脇博文

11：25～12：25　昼休み

12：25～13：25　基調講演（題目未定）

エスペック　佐藤登

13：25～14：20　非水系有機電解液および添加剤の役割と分析技術の関わり

　　ダイキン工業　能美政男

14：20～14：30　休憩

14：30～15：25　リチウムイオン二次電池の試作とその評価試験

　JFEテクノリサーチ　島内優

15：25～16：20　リチウムイオン二次電池および組電池の安全性試験・シミュレーション

コベルコ科研　山上達也

16：20～16：40　全体質疑

参加費：日本分析化学会員：12,000円　その他：17:000円

定員：100名（申込順受付）